

備前市事務事業評価表

事務事業名	消防施設管理事業		コード	01-04-02-01
			担当課・係	総務課消防防災係
			担当者	中島 和久
事業実施期間	昭和46年度から			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり		
	小項目(施策)	消防・防災(消防防災施設の整備)		

事業について	
目的 (何のために)	水利がない場所での水利確保を行うため、消火栓、防火水槽など整備することにより、火災等の災害を軽減することを目的とする
対象 (誰・何を対象に)	地域住民
内容	防火水槽、消火栓、消防車両、可搬ポンプ等の消防資機材の整備

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
消火栓設置	3 基	5 基	
防火水槽設置	2 基	0 基	
可搬ポンプ購入	1 台	1 台	
消防車両購入	0 台	6 台	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	14,740	国庫補助金等		直接事業費	30,265	国庫補助金等	2,520	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,600	受益者負担		人件費	2,075	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債	800			市債	20,600				市債	
合計	17,340	一般財源等	16,540	合計	32,340	一般財源等	9,220	合計	0	一般財源等	0	

結果指標	必要人員	0.30 人	0.30 人	
	結果指標名	消火栓	消火栓	
	結果指標量	3 基	5 基	
	単位	基	基	
	対前年比	—	166.67%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	1,205,000 円	2,261,945 円	
	単位当たりコスト	401,667 円	452,389 円	
	結果指標名	防火水槽	防火水槽	
	結果指標量	2 基	0 基	
	対前年比	—	0.00%	
	活動にかかるコスト	8,491,000 円		
	単位当たりコスト	4,245,500 円		

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	消防水利の充足		
成果指標名	消防水利数	式又は説明	消火栓(496)、防火水槽(264)
成果指標量	17年度	18年度	
	755	760	
対前年比	—	100.66%	0.00%
到達目標値	770	到達目標年度	平成23年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 消防法令	妥当性評価<A-E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識 火災等による被害を最小限に抑えるため、消火栓等の消防水利や消防ポンプ等の整備を図ることは妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A-E> C	
有効性の評価	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識 消火栓、防火水槽の設置については、設置場所、工法等により単価が変動するが、経費節減に努力している。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
市民参画度	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E> C
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識 消火栓の増設により水利不足、地域住民の不安解消を図ることができ、消防車両を整備することで消火活動の迅速化が図られた。

平成19年度の状況		説明 消火栓4基、可搬ポンプ1台を予定している。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量 4	結果指標量 0
	成果指標量 764	

総合評価	消火栓、防火水槽などの消防施設は、火災からの被害を減災する施設であることから、その整備及び維持管理は重要な業務である。また、消防車両、可搬ポンプなどの消防資機材の更新や配備は、今後も必要に応じて整備することが必要である。	評価区分 <A-E> C
------	--	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	自然水利、ため池などの水利の活用ができるよう関係部署と協議	平成19年度以降	コスト削減につながる